



男女共同参画セミナー (対面開催)

令和版・ジェンダー論

～なぜ組織に多様性が求められるのか？～

概要：ジェンダー論が急スピードで進化している。従来の女性活躍推進を礎としながらも、令和版ジェンダー論の核心は、イノベーションにある。ジェンダー平等が今、組織や経営に必要とされているのはなぜか？多様性がもたらすイノベーションを、先進事例を紹介しながら考える。



【日時】 **2022年6月3日(金)**

15:00～16:00 (受付**14:30**開始)

【場所】 国際科学イノベーション棟

5F シンポジウム ホール

【講師】 羽生 祥子

(日経**BP**編集委員・日経**XWOMAN**創刊編集長)

【申込】 以下のフォームよりお申込みください。

HTTPS://FORMS.GLE/G8PWYKHMVLZEZJYE9 (**5/31**×切)

【参加対象】 京都大学の学生 (教職員も可)

席に余裕がある場合、当日参加もできます。



- 京都大学農学部入学、総合人間学部卒業 (文芸論主専攻、認知科学論副専攻)。2000年に卒業するも就職氷河期の波を受け渡仏。帰国後に無職、フリーランス、ベンチャー、契約社員、業務委託など多様な働き方を経験しながらサバイバル。2002年編集工学研究所に入社し松岡正剛に師事。「千夜千冊」「情報の歴史」に関わる。
- 05年日経ホーム出版社 (当時) 入社。12年「日経マネー」副編集長。13年「日経DUAL (当時)」を創刊し編集長。18年「日経xwoman」を創刊し総編集長。20年「日経ウーマンエンパワーメントプロジェクト」始動。
- 近著に『多様性って何ですか？D&I、ジェンダー平等入門』 (日経BP)。
- 内閣府少子化対策大綱検討会、厚生労働省イクメンプロジェクト、東京都子供子育て会議の委員などを歴任し、働く女性や共働き家族の声を発信している。大学講義、企業セミナー、TV等出演多数。プライベートでは2児の母。趣味はピアノ、水泳、金融の勉強。目下、グローバルの中で薄れつつある「日本の個性」に着目。

